

**学校教育目標 未来をたくましく生きぬく人間の育成 「笑顔いっぱいの学校」**

カリマネの柱 「考えを発信する力の育成」～人権教育を通して～

研究主題 「自他のよさを尊重し、豊かな人間関係を育む子の育成」  
～表現活動の充実を通して～**(1) 主題設定の理由**

本校では平成29年度より研究主題を「かかわり合う力の育成」とし、児童が「かかわり合い」を通して、「友だちと勉強したらできるようになった」「授業の中で友だちと相談するのは楽しいな」と実感できることを目指して研究を重ねてきた。この研究の中で明らかになったことは、「児童が学習課題と深くかかわるためには、単元や本時の導入の際、ゴールを明確にすることが有効であること」「児童が他者と深くかかわるためには、必要感のある話し合いの場の設定が有効であること」「児童が自己と深くかかわるためには、教師の問い返しと振り返る活動の充実が必要であること」の3点である。

「かかわり合う力の育成」を目指してきたことで、授業改善が図られ、学力面においても一定の成果を上げることができた。

ただ一方で、本校の課題の一つである「児童の自己肯定感が低い」ことについては、様々なアンケート結果から、さほど大きな改善に結びついていないということもわかった。

よって、昨年度からは研究主題を「自他のよさを尊重し、豊かな人間関係を育む子の育成」とし、学校教育目標にも掲げてある「笑顔いっぱいの学校」を目指し、研究を進めてきた。「学習課題に対する自分の考えをもち、主体的な話し合いをさせるための手立て」「自己の変容を意識させるための終末の充実」を重点とし、併せて生徒指導の視点を生かした授業展開をも意識した教育活動を行ってきた。

今年度も昨年度に引き続き、研究主題を「自他のよさを尊重し、豊かな人間関係を育む子の育成」とし、児童の自己肯定感の向上を目指していく中で、「笑顔いっぱいの学校」へと繋げていく。

**(2) 研究の重点****①生徒指導の視点を生かした授業の展開**

児童の自己肯定感を高めながら授業を展開するために、生徒指導の視点の明確な位置づけを行っていく。そこで、本校における「生徒指導の視点を生かした授業像」を以下のように設定し、それぞれの具体を講じていくものとする。

## ◆「自己決定の場が与えられている授業」

児童が自ら課題を発見し、追究していく中で、自ら考え判断し、表現できる授業

## ◆「自己存在感を実感できる授業」

児童一人ひとりに、学ぶ楽しさや達成感を実感させることのできる授業

## ◆「共感的人間関係を育むことができる授業」

教師主導にならず、児童が発言を繋げながら進めていくことができる授業

生徒指導の視点を生かした授業を進めていくことの目的は、「すべての児童に出場を与え、自他のよさを尊重し、豊かな人間関係を育むこと」である。つまり、一人ひとりの児童が、授業の中で自分の意見や考えを持ち（自己決定）、それを表出し（自己存在感）、そして、互いに相手の意見や考えを受容していく（共感的人間関係）事が重要であり、このような授業を積み重ねていくことで「児童の自己肯定感の向上」に繋げていきたい。

## ②出来ていることに目を向ける（「ポジティブ・フォーカス」）ための視点の明確化と、勇気づけの言葉掛け（「ボイスシャワー」）の精選

児童の自己肯定感の向上のため、教師は、児童の出来ていることに目を向け（以下「ポジティブ・フォーカス」）、勇気づけの言葉をシャワーのように浴びせる（以下「ボイスシャワー」）。その際に、ボイスシャワーを以下の3つの次元に分ける。

◆ I メッセージ（受容・共感）＜存在そのものを受容する＞

例)「あなたのその考え、私はよく分かるよ。」など

◆ We メッセージ（承認・感謝）＜頑張り・優しさを承認する＞

例)「あなたのおかげでみんなの考えが深まったよ。ありがとう。」など

◆ You メッセージ（賞賛・価値付け）＜頑張り・優しさの過程・行動を価値付ける＞

例)「あなたはこんなに頑張ったんだ。すごいね。」など

授業の中の「どの場面で」「どんな言葉掛けが」児童の自己肯定感の向上につながるかを模索していくため、相互参観習慣や研究授業において分析・検証を行い、改善につなげていく。分析・検証の際には以下記載のマトリクス表を使い、ボイスシャワーの実践例を蓄積し、共有していくこととする。

	I メッセージ (受容・共感)	We メッセージ (承認・感謝)	You メッセージ (価値づけ)
自己決定の場を与える授業	「その考え、よくわかるよ！」		
自己存在感を与える授業			「頑張ったんだ。すごいね！」
共感的人間関係を育む授業		「みんなの学びになったね！」	
資質・能力の育成に関して			「関係付けて考えているね！」

(ボイスシャワーの分析例)

児童の自己肯定感を向上させることは、児童の学習に対する「主体的に取り組む態度」の向上に繋がるものと考えられる。よって、困難な課題に対して、粘り強く取り組むことに価値を見出し、自身の学習に向かう態度に自信を持ちながら学びを重ねる児童の姿を目指し、重点①②に関する具体的な手立てを講じていくものとする。

本研究は、重点①②を通して「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図り、各教科における資質・能力の育成に繋げていくものである。

### (3) 学びの土台

「自他のよさを尊重する」ためには「話し手を支える聴き方」は非常に重要である。また、生徒指導部会からも「聴くことは優しさ」を合言葉に、日々の学校生活の中での「聴くこと」の大切さが周知されている。よって、これまでの本校の取組である「はっきり大きな声で伝える手立て」「話し手を支える聴き方の手立て」の中から「話し手を支える聴き方の手立て」を、今年度の学びの土台として取り組んでいく。毎月1週目に各クラスで話し合い、具体的な手立てを設定し、4週目にふり返りを行う。必要に応じて具体的な手立てを更新し、実践を蓄積していく。

#### ①各学級更新型スタイル

◇1週目：「話し手を支える聴き方の手立て」を、学級または学年で決定する。

→みそのびスタイルチェックシートに記載し、教師と児童の共通理解のもと、具体策に取り組んでいく。

◇2週目～：相互参観週間を活用し、更に重点的に取り組む。

◇4週目：各学級でふり返りを行い、翌月につなげていく。

#### ②みそのびスタイル（教室掲示）

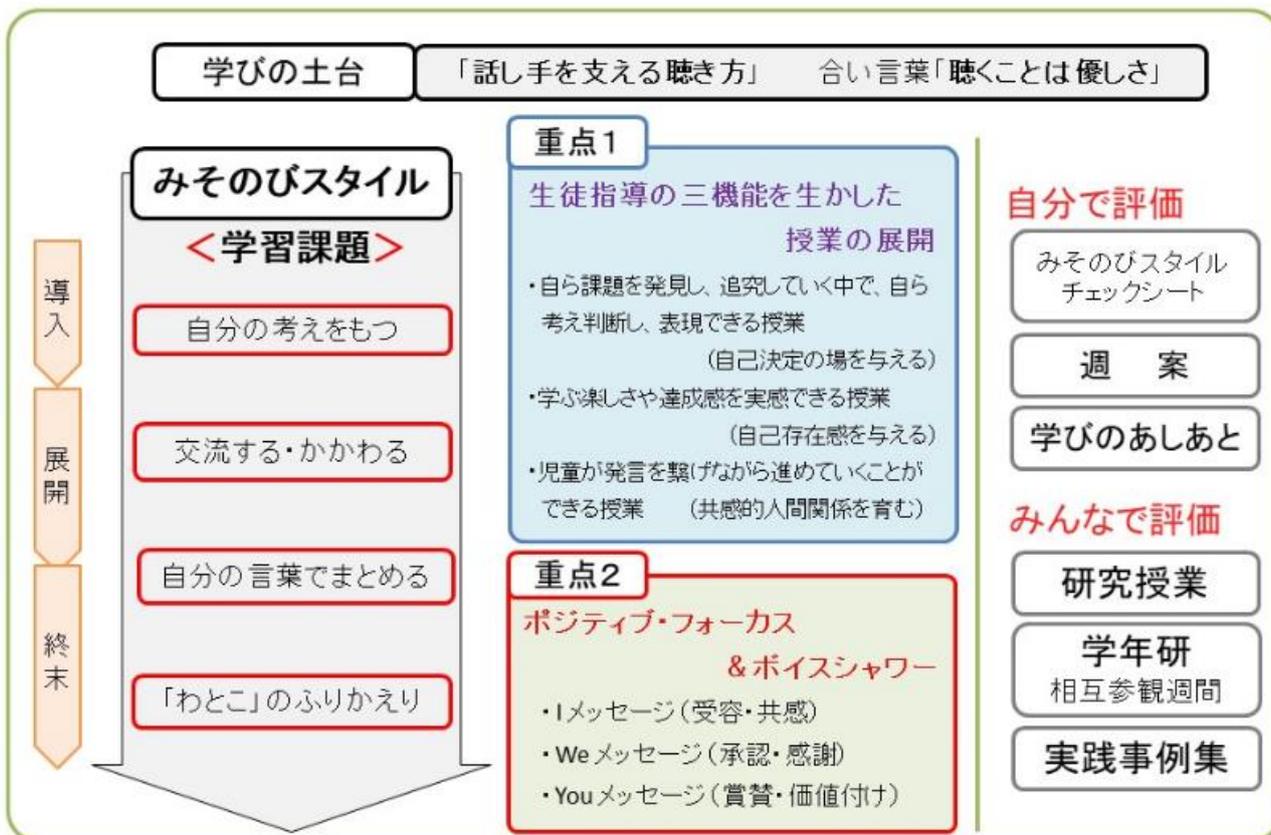
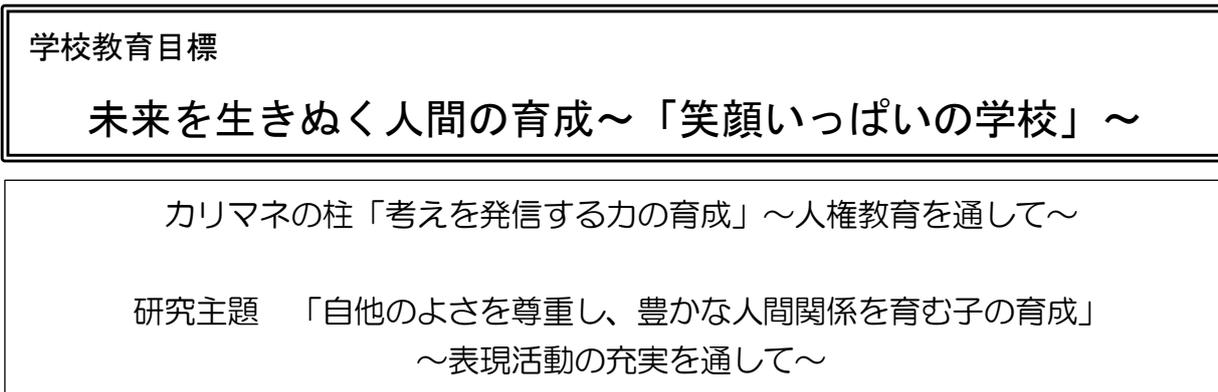
#### ③みそのびスタイルチェックシート（セルフチェックシート）



『みそのびスタイル』チェックシート		担当( ) 名前( )												
45月	1週間に2回、自分の指導をセルフチェックしましょう 指導できた…○ 指導できなかった…×	45月												○の数
		17日～21日		24日～5日		8日～12日		15日～19日		22日～26日		29日～2日		
		①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	
学習基盤	あ:あいさつしっかり！姿勢もしっかり！ 「はじめます！」「おわります！」「足のうら、ピタッ！」													
	か:書く用意！ (ノート、教科書、下じき、筆箱)													
	さ:「さっ」と手を挙げ 授業に参加！													
	た:チャイムでスタート！ チャイムで終了！													
な:なるほど！まとめ、ふり返り 「わかったことは…」「友だちの…」「これから…」														
「聴くことは優しさ」手立て:														
重点1:授業の中での「生徒指導の視点」 自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係の育成														
重点2:ポジティブ・フォーカス&ボイスシャワー Iメッセージ・Weメッセージ・Youメッセージ														
学習環境	家庭学習の推進(10分×学年)													
	ののいち読書ノートのチェック(1ヶ月に1回)													
	「道徳コーナー」の更新 (1ヶ月に1回)													

2ヶ月で1枚になります。  
週案に添って、2ヶ月に1回コピーを頂けると、いろいろな書類に使えますので、ご協力下さいm(\_ \_)m

(4) 研究構造図



<p><b>【生徒指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇安心・安全な風土の醸成</li> <li>◇温かい人間関係づくり</li> <li>◇互いに認め合える学級づくり</li> </ul>
--

<p><b>【特別活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇話し合い活動の充実</li> <li>◇児童の参画意識の向上</li> <li>◇たてわり活動におけるふり返り活動の充実</li> </ul>
--

(5) 研究授業について

- ・学級担任の研究授業は**学年内で、学年研、公開研のいずれか**を行う。  
級外・専科は、担当の教科とする。特別支援の先生は担当学年を中心に授業を行う。
- ・**全体研究授業(低・中・高)においては、外部アドバイザー(助言者)を要請**し、指導・助言を受けて、研究を深める。

令和5年度 年間計画		低学年		中学年		高学年	
月	内容等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	提案授業					◎山内 国語	
5月	学校訪問						
6月	全体研授業		竹中 算数	東 道徳		佐内 理科	
7月					◎平野 道徳		
9月		山越 算数		川原 国語	徳野 自立活動	村井 算数	萩野 社会
10月	全体研授業	◎山本 算数	金要・道徳 松村・道徳		立原 算数	岡田 体育	増林 体育
11月	公開研授業	前沢 道徳	竹中 道徳	佐藤 総合	長谷川 総合	淵上 社会	北岸 保健
12月							
1月							